

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

1. 日時：平成 22 年 4 月 12 日(月) 12:30-13:25

2. 場所：京都大学原子炉実験所図書棟会議室

3. 出席者（敬称略、順不同、所属無記載は京大炉）

海老原充（首都大学東京）、堀 史説（大阪府立大学）、瓜谷 章（名古屋大学）、福永俊晴、鬼柳善明（北海道大学）、福本 学（東北大学）、田崎誠司（京都大学）、大浦泰嗣（首都大学東京）、藤井俊行、高宮幸一、櫻井良憲、福谷 哲、川端祐司、増永慎一郎、義家敏正、大川久美子、鶴田八千世

4. 配付資料

- ・議事次第
- ・原子炉利用研究者グループ規約（H19.10.24）
- ・原子炉利用研究者グループ平成 22 年度予定
- ・京都大学原子炉実験所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合せ（H15.1.28）

5. 議事

1) 代表幹事挨拶 [海老原（首都大）]

H22 年度は原子炉の運転が再開されるので、共同利用研究もますます活性化すると考えられ、外部の利用者と所内の職員が共同で作業する場であるという原子炉利用研究者グループの重要性もますます大きくなる旨の挨拶があった。

2) 議題 1: 本年度の予定 [義家（京大炉）]

H21 年度に退職された瀧雅子さんの後任予定であった鶴田八千世さんに代わり、大川久美子さんが事務局を担当される旨の報告・紹介があった。

配付資料「原子炉利用研究者グループ平成 22 年度予定」に沿って本年度の予定が説明された。

H22 年度は選挙の年であるため、運営委員会委員、共同利用研究委員会委員の選出方法について説明があり、次回の幹事会（7 月 12 日）において推薦により候補者を決定する旨が伝えられた。委員の専門分野については従来通りの 4 分野（物理、化学、工学、生物・医学）で行うこととする。物理と工学 2 分野に重複している被選挙者の多くが工学に分類されているため、物理系の候補者が限られており、今回は物理系の候補者を選出するにあ

たって苦労したとの意見があった。これまでの被選挙者の4分野分類に関する統計を取り（義家幹事）次回幹事会にて対応を議論することとする。

- ・会員及び被選挙者が、会員であること及び被選挙者であることを認知する
- ・選挙権のある会員への被選挙者リストの郵送費（印刷費込）を削減する

上記2点の観点より、原子炉利用研究者グループのウェブページに会員及び専門研究会・ワークショップ参加予定者の名簿を掲載することについて議論した。専門研究会・ワークショップ参加予定者については、主催者から各位に被選挙者となっている旨が通知されていない可能性があり、このため無断掲載となることが懸念される。今回の選挙に際しては従来通りの紙媒体による被選挙者リスト配布とし、次回以降の選挙に向けて、投票の電子システムの構築と被選挙者への周知を徹底することとする。

選挙に関する規約に幹事の連続再選は原則として3期までとの記載があるが、現状では3期を超えている幹事が複数人存在する。次回選挙からは原則に従い、被選挙者リストのうち3期以上連続再選された幹事名に印を示し、原則として被選挙権がないことを明示することとした。

3) 議題 2: その他[義家（京大炉）]

当グループ幹事会における昼食代をグループの経費として負担することが提案された。これに対して、現時点で収入の予定がないのにかがなものかという意見が出されたが、会費の徴収は現存資金が尽きる頃に行うことになったため、なるべく早く使いきりたいとの考えから、経費として負担することが了承された。

4) 次回幹事会の開催予告

回りの幹事会は7月12日(月) 12時から昼食をとりながら行うことになった。

文責：福谷・藤井・高宮